

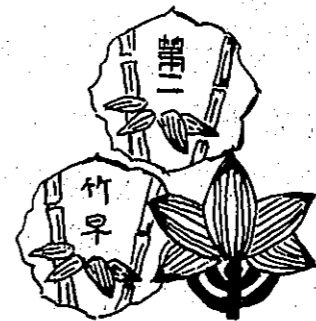
竹

創刊3号 1992年

学生会報



東京府立第二高等女学校同窓会
東京都立竹早高等学校同窓会



篁会報

創刊第三号

平成四年三月三十一日発行

発行・篁会

東京府立第二高等女学校同窓会

東京都立竹早高等学校 同窓会

〒156 東京都文京区小石川4丁目2番1号 篁会館内

編集・篁会編集委員会

電話・03(38815)6765

印刷・雑ニッター印刷所

〒156 東京都文京区千駄木8丁目2番11号

電話・03(3821)0210

編集委員

- 渡辺 信博 高校22回生
- 吉岡 忠俊 高校13回生
- 相馬 昌子 高校12回生
- 今永 絢子 高校10回生
- 関 文隆 高校10回生
- 角掛 隆 高校10回生
- 山廣 俊雄 高校7回生
- 森本美智子 高校3回生
- 井上よしみ 高校2回生
- 菅原 光子 高校2回生
- 内山 隆子 高校2回生
- 高木美和子 高女43回生
- 田川百合子 高女42回生
- 表紙・文中 さしえ
- 上原 収一 高校22回生

平成四年度篁会総会の御案内

下記のように総会を開催いたします。奮ってご出席ください。

日時 6月6日(土) 受付 午後12時30分より (1時 総会開始)

会場 アルカディア市ヶ谷 私学会館 富士(西)の間
☎ 03-3261-9921 (代表)
市ヶ谷駅(徒歩2分) JR線-中央線 地下鉄線-有楽町線・都営新宿線

会費 6,000円(学生は2,000円)

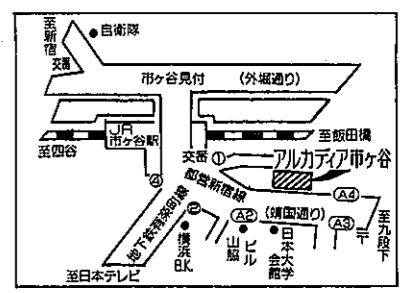
内容 ◆ 総会議事
◆ 講演 「メコン川河畔から見た私達の暮らし」
講師 星野(山下)昌子さん 高校2回生(昭和25年卒)
◆ 懇親会 3時より
ご出席の方は同封の葉書で5月10日までにご返事をお願いします



《講師紹介》
1950年 卒業 都立竹早高等学校(社会学)卒業
1954年 慶応大学文学部(社会学)卒業
1965年 第一回青年海外協力を体験し、1年間オーストラリアに滞在。
1980年 バンコクで民間企業に勤務。タイ(NGO)を設立。国際ボランティアーとして、タイの救済活動にあたる。
1989年 同センターの特別顧問となる。
1991年 神奈川県立かながわ女性センターを設立。経済審議会委員を兼務。
1984年 企画庁総合計画局・経済審議会委員を兼務。国際技術協力分野への貢献に対し、外務大臣賞を授与される。
1990年 JVCは団体として朝日社会福祉賞を授与される。

《著書》・NGOへの挑戦(めこん社)・アジアへの視点(勁草書房)
・女は地球を愛している(ほんの木)

- ☆ 今回幹事
高女49回生(昭和24年卒) ☎ 内山 03-3998-2964
☎ 菅原 03-3811-2082
高校2回生(昭和25年卒) ☎ 井上 03-3947-2466
高校23回生(昭和46年卒)
高校43回生(平成3年卒)
- ☆ 次回幹事
高校3回生(昭和26年卒)・高校24回生(昭和47年卒)
高校44回生(平成4年卒)



ご挨拶

篁会会長 愛知 富
平成四年の新しい年を迎え、昨年を振り返り、なんとか無事に過ごせたことを心から喜びと共に、本年も総会のことの良い方に向けて下さることを祈っております。昨年十二月八日で第二次世界大戦開戦から五十年の歳月が経ちました。私共の年齢の者は、この大戦と関東大震災とを経験した者達でございます。只今の豊かな日本をみますと本当に有り難く、どうぞこのまま長く続いてくれることを願うばかりでございます。永年の懸案でありました校舎の新築も、昨年より漸く工事が始まり本年中に一部が出来ると思っています。本当に永い間、歴代の校長先生並びに諸先生、PTAの皆さまの並々ならぬご努力の賜物と存じます。先日久し振りで手紙の整理をいたしましたら、本校の校長先生方のお手紙がございました。部厚いお手紙の束を手にして胸がせまる思いでございました。本当に永い年月の末に本校が改築されることになったのだと思います。諸先生方のご努力の並々ならぬことを思い返し、卒業生の一員として只々感謝するばかりでございます。PTAの皆様もありがとうございます。存じます。そして二、三年先には校舎が出来上がり、その後竣工式を挙げる事ができると思っております。私は今からお祝いの日の様子を思い浮かべております。それは諸先生方の晴れやかな笑顔、生徒さん方が立派な教室や体育館やプール等に満足なさり勉学に意欲を燃やしていらっしゃる姿でございます。私共一万二千の同窓生も府立第二高女、竹早高校に学んだ当時のことを思い返し、懐かしさと、心強い気持ちで一杯です。

最後に報告したいのは、この会報は第三号でございますが、これを出しますのに役員の方々が毎月篁会館に集まってお仕事を下さり、又昨年は在校生の方が会報郵送のお手伝いをして下さいました。本当にその熱意に感謝いたしております。これから先も全国にいらっしゃる同窓の皆様、この会報を通じて同窓会、同窓生のご様子、また現在の竹早高校の有り様をお知りいただいで力強いご支援をお寄せ下さいますようお願い申し上げます。どうぞ皆様本年もお元気で過ごして下さい。心からお祈りいたしております。

学校長 杉内重信

本校に着任して、早や二年が過ぎ去り今年三月三十一日付で東京都立竹早高等学校長を最後に三十八年に及ぶ教員生活に終止符を打ち、定年退職いたします。既にお知らせ致しましたように改築第一期の校舎棟の工事は地下一階地上二階部分の躯体工事が終わり、いよいよ二階部分の躯体工事にかかるころです。この調子で進めば平成五年二月に竣工し、引き続き現校舎の解体、第二期工事となりますので、現校舎に愛着を寄せられていらっしゃる方、是非それまでに母校にお立ち寄り下さい。今回は現校舎で授業を行いながら工事を進めている関係で工期も五年の長きにわたりますが、篁会会長 愛知富氏をはじめ多くの同窓生の方々、歴代校長先生のご支援ご協力のもとより、本校事務長・工事関係の責任者のきめ細かなお骨折りで近隣地域からの苦情は一切ありません。本校の生徒は九十余年の伝統を大切にしながら、体育施設の不十分な中にも文京スポーツセンター

1・文京総合体育館・小石川運動場・後樂園少年野球場・東京都立文京盲学校・文京区立金富小学校などのご好意により諸施設を借用し、生徒一人一人が学習を中心に据えてクラブ活動に、竹早生としての自覚と誇りをもって、先生方の指導のもとに真摯に取り組み学校生活を有意義に送っています。その結果現役で平成三年四月東京大学に入学した卒業生がおり、目下それに続くべく後輩が頑張っています。或る公立高校で同じクラスに東京大学への入学希望者が八人おり、内 現役で四人浪で残り四人が入学したとの話を耳にしました。竹早生の資質・能力は十分ありますので、この例のようなことも可能と考えられます。この位の意気込みで入学時から学力の増進に向けて級友が切磋琢磨するならば、進学の実績は大幅に改善できると思えます。さて、高校教育は今、生徒急減期を迎え、今までの量的拡大から質的充実への転換が急務となっております。平成三年十一月十六日 本校で、はじめて第四学区内の中学校の保護者を対象に学校説明会を実施しましたところ三百有余名の方々が来校し、竹早高等学校の様子をつぶさに見聞きしていただきました。竹早だ」との多くの声が聞かれ、大変好評でした。校内では、厳しさと優しさのある指導・教育課程の改善・やる気のおこる授業に向けて、教職員が一体となって取り組んでいます。また、昨年五月、一年生全員が土曜日の午後 篁会の係の方々のご指導のもとに篁会報の発送のお手伝いをさせていただきました。その作業中に同窓会の方々との有意義なお話ができたことと喜んでいました。最後に本校並びに篁会の益々のご発展を祈念いたします。

学生会を終えて

(高女48回生)

白鳥 洋子
北島 末子



平成三年度学生会総会は昨年六月二十九日(土)に虎ノ門の霞が関ビル34階の霞会館に於て行われ、総会に際して、学生会報の見開き、総会案内を載せていただき五月十七日学生会幹事学年が集まり、役員の方のお力添えと在校生のお手伝いを得て一万二千余の同窓生に会報を発送しました。五月末日迄の返事は一九三通。これより本格的な総会の組み立てをつくり、六月十一日プログラム校正を終わり、名札を用意する等、当番学年一同協力して細部をつめてゆきました。

当日の出席者は一七五人と比較的歩留りよく予定通りの費用にて盛会のうちに無事終了いたしました。準備は一年余り前より始まりましたが、成功か否かはつまるところ出席人数次第であることを痛感し、ご参会いただいた皆様に深く感謝しております。

同窓生の層が男女混合で、こんなにも厚くなっている事に今更ながら感動いたしました。戦前戦後の教育の違いもあることと、皆様に喜んで出席して頂ける会を持つことは並大抵ではないと思ひ、恐る恐るの当日でございました。一部は高女48回卒の渡辺桂子の司会



により愛知会長のご挨拶に続き事業報告、会計報告、来賓、現職先生方ご紹介と滞りなく終了しました。一呼吸あつて菅野チサさん(高女48回卒菅野圭子の次女)のフルート演奏に移り白石光隆氏のピアノと共に懐かしい美しいメロディが会場を包みました。このフルート演奏について来賓の小野政吉先生が「広い会場でしか聞くことがなかつたけれど、小さい会場での音楽が、本当に素晴らしいものと感じました。」とお言葉

又、真紅のドレスの彼女の楽しいおしゃべりも満足いただけましたことと思ひます。十五分休憩をとり、その間に椅子を片付け、ビュッフェスタイルに変わった広間に再び集まっていたいただき懐かしい方々との歓談に花が咲き、お料理の数々を召し上がっていらつしやるところに、高女48回卒の出口庸子のピアノが流れました。高女48回卒の五十人近くが次第にピアノの周りに集まって、村井小枝の戦中女学生生活を偲ぶ詩の朗読が始まりました。それから塩崎佳子先生へピアノが代わりました。六十才のコーラスが、おこがましい思ひや、恥ずかしさを包んで始まりましたところ、皆様が一緒に歌って下さり本当に嬉しいことでした。ご出席の皆様が、わずかでも参加した気分浸った



ご出席下さった皆様、お手伝い頂いた皆様、本当に有難うございました。終りに不慣れな者ばかりで至らぬ事多々ありましたことお詫び致します。

て下さったのでしたらこんな嬉しいことはありません。高女42回卒の皆さんが、はきはきと働いて下さり、若き同窓生の今後が本当に楽しみです。いつの頃からか、しきたりか、還暦を迎えたところで幹事当番が来て、二十才ずつ差のある同窓生が連絡を取り合つて行事を行うということは、何と当を得たことかと思ひます。特に今回六十才になった当番幹事は、引き込み思案になりがちのところ、若き頃を思い出し、伝統ある学校の卒業生であることを思いおこし、再び世の中に眼を向ける機会を頂いて一同背すじも伸びて、これからの人生を新しく生きるつもりになっております。日暮れゆく34階の窓からの東京の空が、いつもより優しく美しく、皆様をお送りしてほつとすると同時に充実した気分になったのは昨日の事のようにすが、もはや年も変わりました。平成四年度の準備が進んでいることでしょう。

学校の現況

生徒も教職員も篤き笑みで

教頭 木村 正雄

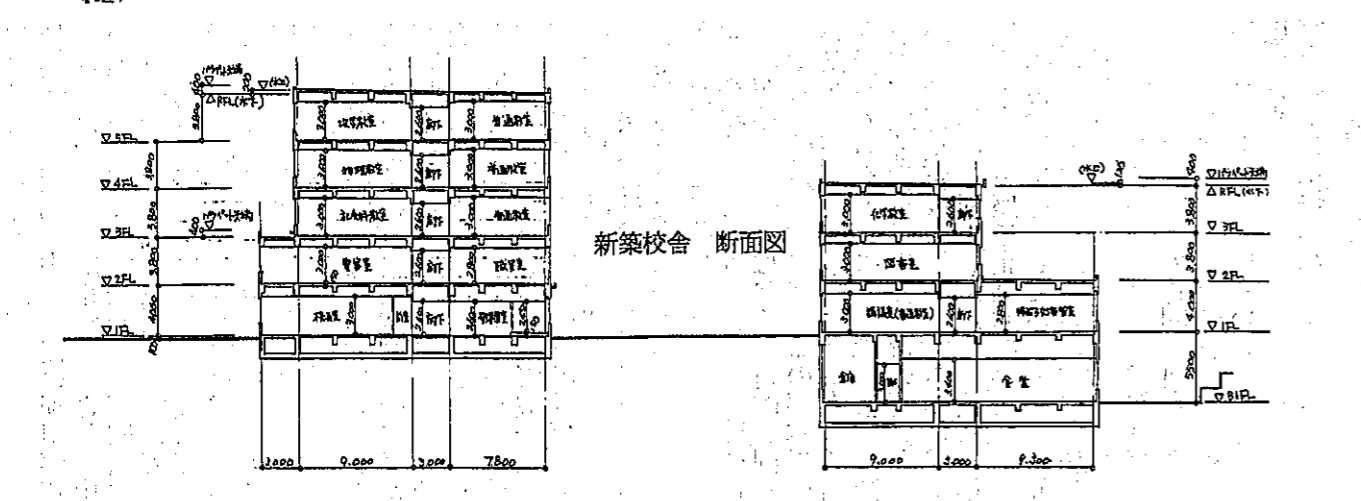
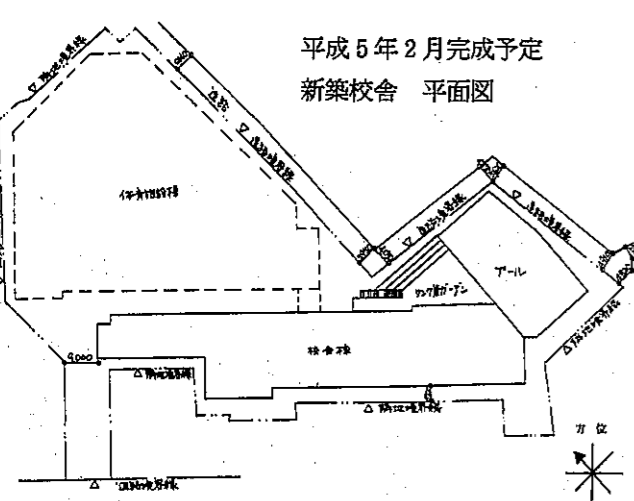
生徒八一四名(男子四一八、女子三九六)、教職員六十名が心を一つにして充実した学校生活を目指して努力しています。歴史の古い竹早高校だけに生徒は先輩諸氏のご活躍を見聞し、敬意を感じながら後輩も続くという意気込みで学習活動、クラブ(部)活動に優れた成果をあげつつあります。

生徒は「竹早高は自主自律の雰囲気のみならず、それが形だけでなく内容の重みを感じる」という。「課題を学習して提出するが、必ずそれが身に付いてるかどうかテストを実施するので、うかうかしてられない」という。先生方の指導がきめ細かに行われている一つの理由ともなっている。

一月下旬現在の本校の推薦入学者は学習院大、明治大、慶応大、理科大、北里大、立教大、共立女子大、早稲田大、中央大、法政大など三一名(男七女二四)です。これから一般の入試状況が明らかになるにしたがつて朗報が届く事を期待しています。(例年は国立大へ六十、七十名、他は私立大、短大、専門学校等へ、就職者は一二名です。)

クラブ活動もさかんで、吹奏学部は都高の部で銀賞、都のアンサンブルコンテストでサキソフォンで銀賞、クラリネット、銅賞、男子バレー部は都の二支部大会で三位に入賞、柔道部は文京区民大会の部で三位に入賞、女子バレー部も積極的に練習に励み好成績を収め、男子バスケット部は都の大会で、三、四回戦まで勝ち進み、サッカー

一部は日頃の練習が実を結び、新人戦は四回戦まで進出、野球部も同じく都や地区の大会で三、四回戦まで勝ち進んでいる。陸上部は個人競技として都も男女十数名の部員が練習に励んでいる。テニス部(硬・軟)も男女共厳しい練習に挑み、水泳部は東大プールで力泳している。卓球も明るい練習を繰り返しており、演劇部は三、四回公演を行い、コーラス部は練習に余念がなく美術部は新鮮な作品を画廊に飾って芸術的雰囲気満喫させている。マンガ研究部も廊下に作品を展示して生徒にも来客の方々にも絶賛を浴び、放送部は日頃の放送活動と行事に大活躍、コンピュータ研究部もソフトづくりに軽音部もライブを開き、生物部も兎やメダカの飼育研究、図書委員会は毎年竹早祭での古本市の利益を日本点字図書館に寄付しています。



(財) 篁会館

理事長 吉沢 とよ

(高女35回)

会員の皆様 御機嫌よろしゅうお過ごしでいらっしやいますか。編集の方々 御苦労様でございます。

篁会館につきましては、今御報告することはございませんが、何分にも老朽家屋の為、利用して下さる方も減ってしまいましたので、この数年計画しておりましたことを実行しなければならぬと思っております。事業計画につきましては、皆さまによい案がありでいらっしやいましたら、お知らせくださいますようお願い申し上げます現在の会館使用状況は次のようになっております。

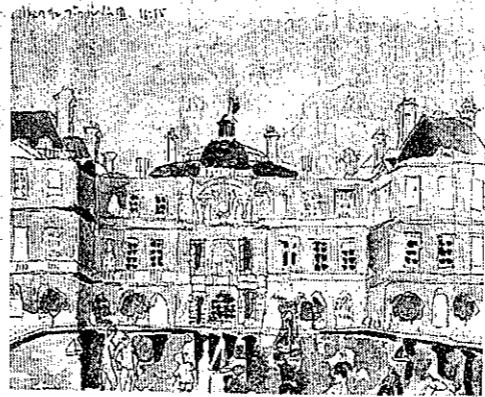
○ 月に二回(木)謡、能の会 八名

○ 月に一回 春日町町会集会

○ 竹早小学校理事会、同期会、書道の会、

○ 篁会館の歌舞伎観劇。

簡単にございますが、これでご挨拶にさせていただきます。



管至吉村△△報出口

平成四年当番

(高女34回)

高木 美和子

昭和二十九年(一九五四年)三月に故・秋場鶴子様(十七回・大正六年)のお世話で東京と湘南在住 第二高女卒業生二十数名が懇親会を熱海の第一ホテルで催した。これが篁寿会のはじまりだった。その後、昭和四十年には還暦を迎えた卒業生全員に声をかけ、五十名位の集まりとなり、会の名も「篁寿会」と名付け、初代会長は深沢てる様(十四回・現在九六才でお元気です。自分の事は自分でするが、外出は余りしないよし。お電話の声は若々しく、さわやかでした。)二代会長故太田喜美様(二十回)三代会長池田典子様(二十四回)そして現会長は小泉節子様(二十六回)が引き受けられ、年々会も盛んになり現在コンスタントに出席者二百余名という会に育った。昭和四十九年には開催月は「三月」会場は「学士会館」と固定し、幹事学年は順送りとした。

今年三月二十六日(木)昼食後のアトラクションは、旧職員で人気絶大だった故・田淵行男先生(日本の第一級山岳写真家であり、高山蝶研究の第一人者。安曇野に先生の業績を修めた記念館も設立されている)の偉大な足跡を、七年の年月を費やして作製された「自然への愛」(八mm映画のビッグタイトル受賞)の映写と、この作者、堺敬生氏のお話。そして東京音大のピアノの先生竹中観子さん(四十三回)の伴奏でなつかしい歌の斉唱など。明治三十四年の第一回卒業生(四十五名)からはじまり昭和になって百名ずつの卒業生となったが、師範(現学芸大)併設で、先生も共通であり小規模校であった事が府立第二高女のよい



(財) 竹早会

理事長

岩田 隆子

八ヶ岳山麓、清里高原にある八ヶ岳寮は、美しいの森と野辺山の最高地点の中間、山梨県が設定した学校寮区と呼ばれる地区にあります。清里駅から歩けば三十分、国道一四一を小諸方面に向い、八ヶ岳横断道路を左折して右側の自然林の中に、コンクリート二階建てのセミナーハウスと、アーチェリー射場として作られた(百m×五十m)と(二十m×三十m)の二面の芝生の広場と、作陶施設(穴窯、灯油窯、工房)その他、草木染の設備、があります。一九六一年竹早高校六十周年の記念事業の一環として建設された林間施設です。建設された建物の登記の名義人として東京都教育委員会の管轄下に設立された財団法人竹早会が維持運

雰囲気をつくりだした様な気がする。

湘南南管至△△

湘南篁会会長

神谷美喜子

篁会の総会にも例年出席させていただいて年々御盛會に実のある会に育って行かれるよう本当に嬉しゅうございます。また会報を出されまます御苦労もさぞ大変と思ひながら楽しく拝見しております。湘南篁も細々ながら例会を続けて参りましたが一寸マンネリの様子にも見え如何いたしたら皆様の御期待に添えるような会に成長して行けるかと心では思いつつも私共も考えますと少々年をとり過ぎました。これをチャンスに若い方々の新しい息吹を大いに期待したいと切に願っております。湘南篁をつくらなく下された方々も大半いらっしやらなくなりましたし高校も新制となって早四十余年大きな変革がおきてもよい時と思われまます。鎌倉には子供婦人会館がありその創立には先輩方がそれこそ骨身を削って御苦労ななり敷地の一部をご寄贈もなされたと同っております。只今では篁会の方々も少くなつた事もあってお若い方へのリレーがうまく行っていないのでその方面にも力をかけて下さる方が出来ましたらと願っております。きつと会館をご利用になっておいでの方もあると思ひます。之を機会にお力をおかし下さる方があったら本当に幸でございます。高校の名簿の中からもお名前を探し出して御案内も申し上げておりますがどうぞ皆様お話し合いになってお出かけ下さいますように。と申して只今の処実のある会としての魅力には欠ける処があるかもしれませんがどうぞ皆様の御協力で折角の湘南篁の字を消してしまわないように致し度う存

管に当たってききました。社会情勢の変化の中、生徒の利用が無くなったことから廃止が論議された由前理事長(亡父 澤登千明)が明治生まれの一徹。存続を主張。私財にて、改修工事、アーチェリーの建設などを行い、施設の再興を計ったが、思い半ばにして死去。理事會にて選出承認され、私が父の意志を継ぎ理事長に就任皆様の協力を戴いて現在に至っております。財団の監査役をお願いしております小口郁子様(高女42回)のお父様が戦時中寄付なさつた小平農園の売却金を基に昭和三十年代にPTAで集めた浄財を合わせてセミナーハウスは建てられました。設計は、大野淑子様(高4回)のご主人吉村順三設計事務所の大野薫氏の設計です。財団法人とは、設立者の意志や思いを寄せられた資産に法人格が認められ理事長は、その代理人と云う考え方で、公益法人というの、一親陸団体のみか益するのではなく、目的を同じくする不特定多数に益するのが本當の姿だから門戸を開き、公益法人の活動を行って行くようにとの管轄官庁の指導で、環境教育、生涯教育の研修と、心身の健全育成を目的とする団体、グループ等にご利用いただくと共に、年数回の自主講座を企画してあります。維持会員を募集しております。お仲間に入って、これからの運営に参加して下さい。自由時間を持つている人、作りだすのが上手な人、その時間に何をなさいますか?皆で力を合わせれば、夢は清里、ユートピア、いきいきしてくと申ひます。写真の下方は快適なサンルーム(全開口します)

皆さまのご多幸を祈ります。

関西西管至△△の白口恒慢

関西篁会会長

内藤 花

慌しい世界の移り変わりをよそに平和な新春を迎え、早くも立春を過ぎました。関西篁会総会を楽しみに待たれる日も間近になります。まだ期日は決定致しませんが、今年高三卒河合道子様の御自宅でお自身のお手による筍料理でおもてなし下さる事になりました。京都向日町(今は向日市)周辺は昔から全国でも指折りの美味しい筍の産地です。この地にお住まいの故滝川りゆ姉(高女十七回卒)が、三十年位前に、御自宅に同窓会の御仲間をお招きになり、筍御飯を中心のお惣菜や、よもぎ餅等でおもてなし下さいましたのに味をしめて、毎春「筍会」を楽しませて頂きましたのがそもその始めでございます。

滝川様が亡くなられた後、偶然隣組にお住いの河合様が同じように同窓会をして下さいました。河合様のご主人様は陶芸家の河合紀氏でいらっしやいます。当日は御用意下さつたお湯呑茶碗に銘々が絵付をさせて頂き、御自宅で焼いて後日お届け下さる素晴らしい記念品までございました。何と申しましても三十人以上は集りますので、大変な御迷惑、お手間をおかけする事になります。今年、今年、久々で私共の厚かましいお願いを快くお引受け下さつての篁会となります。筍の旬は大抵四月半頃から五月始め頃かと思ひますが、当地ならではのこの素晴らしい催しは関西篁会の自慢の一つ、誠に心温まる誇りと致します。全国の皆様にごよるごびをお分け出来ません事を残念に存じます。

迷いこんだ「女の園」

学制改革の申し子たち

市園盛一郎（産経新聞社読者サービスマスター室長）
出席者 滝川秀次郎（日伯コンサルタント）
向井 正昭（大田区立東調布第三小学校長）
（高校四回生）

井上 今日（今日は）四十年振りに異色のメンバーにお集まり頂きました。今日の主役は五十年間「女の園」であった竹早に勇気を持って入学してきた「五人の男の子」のうちの市園君、滝川君、向井君のお三人でいらっしゃいます。皆さん既に五十代も終わりに近づいて、社会人として立派な活躍をなさっていると思いますが、この貴重な存在である「竹早の歴史を変えた五人衆」にその当時を思い出して大いに語っていただきたく、この会を持ちました。それに同学年から二年上までの、当時の高校三学年にわたる方たちにもお集まりいただいております。

まず、この「男子入学」は戦後の学制改革によるものですけれど、この現場に居合わせなかった多くの同窓生のために、この共学台頭の経緯を同期の方からお話し願います。

桜井 私は旧制の東京都立第二高等女学校の最後の学年で、終戦の翌年昭和二十一年に入学いたしました。当時の校舎は、東京第一師範女子部と私も高女側紅・白組の五学年計十クラスとの同居生活でした。この状態は暫く続いておりました。

次の年には学制の変革で「東京都立第二高等女学校併設中学校」となり、下級生のない未っ子のまま昭和二十四年に「竹早高校」一年生になって、男子五名と新入生を迎えて凡そ倍近く



の生徒数になったと思います。井上 全校生徒数は四百五十名で男子は五名。たったの1%の存在でした。如何ですか、入学式で、これは大変な学校に入ってしまったとお思いになったか、覚悟してお入りになったのか。市園 大変な所——というのが正直な

気持です。特に「苦勞」はなかった。それまでは先生方の使用していたのでした。共学は小学校からでしたが、竹早に入ってみたら共学どころか埋没しそうなことでした。戸惑いましたね。

向井 募集のときに「男子若干名、女子若干名」とあり、受付で「若干名って何人くらいですか」と聞いたら「まあ二十人位だね」とのこと。二十人いれば野球が出来る」と喜んだのですが、浅はかでした。

滝川 必死者は十人くらいいたのではないのでしょうか。僕は市園君や亡くなった岸田君と一緒に文京三中から来たのですが、同じ学校の中でも願書を出したのがもったいとは思わなかった。少ないうちの人数になるとは思わなかったし、それにそんな少数の男子をなぜ入

れたのか、その辺も分からないですね。向井 向井さんはどちらの中学から？ 井上 当時「アサヒグラフ」(二十四年六月一日号)に取材され掲載された写真がここにありますのでご覧下さい。市園 やあ、あるんですか。この間も誰かその話がでたのですけれどね。井上 当時高二でCルームにいらした松崎美佐子さんが、今まで大切に保存して下さっていたのです。これで見ますと雑巾掛けを一生懸命やっていたら、市園 そんなこと、やったのかなあ。

御代 えーえー、なされたのよ。ほかの学年の人たちが「男子が掃除しているわ」と覗きにいらしたり。桜井 その頃「縦割りルーム」になって、一、三年迄の人たちが一緒にCルームを作っていたのです。井上 ええ、そのホームルームのことも説明しておかなければいけないのですが、たまたま五人の男子が入っただけでは全校生徒をA・H組に縦に分割して「ホームルーム」形式にしてしまったのです。当時高三は人数が少なかったもので一ルームに十数名、あとの学年は二十名ずつといった具合で、男子五名は纏めてCルームに入れられました。今日ご同席の桜井さんが一年、御代さんが二年、私は三年生として同じCルームで高校生活を送りました。私には卒業前の楽しい一年間でしたよ。

授業は必修科目は各学年ごと、選択科目は全学年合同というシステムになっていて、朝礼・昼食・連絡事項とかはお教室でルームティーチャー(Cルームは福原先生)を中心に行われました。



移動授業なので廊下に一人一人のロッカーが用意されていましたね。市園 その授業の本とノートしか持っていて出たはいいけないと言われた記憶がありますよ。

御代 男子五名が入ったCルームではそんなに違和感がありませんでした。三年生は錚々たる方たち、二年生は張り切り屋、一年生は元気なチャメさんたちという中に男子五名が入っていて何の違和感もなく、福原先生が自由な教育方針をとっていらしたのかのびのびさせて下さったもので、その年の運動会では秘密競技で優勝したり。その時には背の高い岩上君が僧正に貴方たち四人が小坊主になられてね。私たちが学年の松崎さんがプロデューサー役で奔走して下さって、僧衣は伝通院から、借りてきたのですよ。あとピエロありいろいろいろあって。本

当に楽しいルームでした。福原先生のお話によると、あの当時五人の男子の分散案もあったけれど、先生が引き受けられてCルームに集めたのだそうです。

桜井 リレーに男女の別はなく誰でも出ていいというので、三年生が「それでは私たちのルームは男子に出てもらいましょーう」ということになって、これも見事に優勝したのです。御代 私は二年間同じCルームで過ごしたわけですが、二年目には次の学年の男女三人が入って計八名になりました。

た。ほかのルームも新男子生徒が八名ずつ入ったことになりました。内海 福原先生の英語で一緒に練習したね。レディーファーストで私たちの方がよく当てられてしまった。

市園 僕の印象では、当時かなりいい先生がいらしたということ、同級生がよく勉強してよく出来た、ということですね。滝川 ほんと。よく出来る子がたくさんいると思ったな。

市園 さっき出たスポーツでもそうです。運動場でハードル競争した時、女子の羽鳥さんに負けたのを覚えていますよ。運動にも勉強にもかなり優秀な人がいたと思います。向井 一年下の人でしょう。ハイジャンプで一メートル三十跳ぶと聞いてびっくりしたものです。

井上 プールの仕切りは「赤い紐」いうこと、ありましたか？ 市園 ありましたね。私は浪人して翌年上智大学の新聞学科に入り「産経」に就職して以来ですけれど、仕事上、先輩の名前を方々で聞くものから、竹早のことは気にはなっていました。

向井 向井さんは先生になられていかでしたか。僕 は始め教員になる気は全く無かったのですが、どういいうわけだかこの校舎に居たい気持ち半分ありました。丁度師範が東京学芸大学に変わってこの校舎に居たい気持ち半分ありました。そのままた二年間同じ校舎に通いそれから世田谷の学芸大学本校へ移りました。おかげで五年間竹早にいられた。大田区の出雲小学校に勤めてから二年で母が癌になり、そばにいたいので

理を研究するために入りましただけだ」と言
った方がありました。誰方だったのか。
市園 岩上じゃないかな。そんなこと
言いたいそうなのは。彼は中で一番大人だ
ったと思えますよ。

桜井 ずば抜けてお背が高くっていらし
たから、岩上さんを中心に五人が固ま
っていたみたいでしたね。
青木 常に岩上さんを先頭に、お手洗
いに行くのも五人一緒でしたね。
御代 バスケケットやソフトボールをや
っていらしたでしょう、五人纏まって
滝川 女子がソフトボールの東京都の
大会で優勝して団体に出場するので、
われわれも応援で宇都宮へくっついて
行ったことがあります。

御代 いろいろ手を尽くしたのですが
今日ご欠席の岩上道幸君の消息が掴め
ないのです。
向井 岸田宇内君は平成二年四月に亡
くなりました。五人揃って会ったのは
滝川君のブラジル行きの時だけで、昭
和三十一の頃だと思います。それ以来
僕たち忙しくて会う機会がなかったの
ですが、この企画で三人だけでも集ま
れて、うれいしいですね。あとは岩上君
を何とか捜し出してみます。

井上 また在校生のことに戻りますが
体育の授業は五人だけ別には？
向井 女子と一緒にしたよ。大崎先生
にフォークダンスを教えて頂きました
内海 私が思い出すのは、プール開き
の時にプールを赤い紐で仕切って男子
のコースを作ったので、岩上君が「こ
んな狭い所で泳ぐのか」とぼやいてい
たことです。何であんなことをしなけ
ればいけなかったのでしょうかね。
井上 それでは音楽の授業は？
向井 岩上と僕は音楽を、あとは美術

思ったのかもしれません。
青木 でも私たちが第二高女に入った
頃、数学の先生が一年以上不在のまま
だったのです。戦後で人手不足だった
そうで、上級生にはありつた先生の分
を動員してしまおうから、私たちの分は
ないのです。天下の都立第二にもそん
な時代があったのです。
桜井 三年生になって専任の数学の先
生に教わって、数学ってこんなに面白
いものかを知りました。
御代 私たちは師範の先生にもお教え
を受けました。
井上 私は二年生上だったので、戦時
中は疎開先で木の根っこ堀りとか。東
京に残った人も勤労働員で勉強なんて
出来ない時期もありました。
滝川 旧制高女からの人たちはいろいろ



大森先生

ろ大変だったのです
ね。それにしても僕
が学力の違いを痛感
したのは英語でし
たね。ミス黒（黒沢
先生）の教えを受けていた上に外人さ
んの講師も来ていて、新制中学から来
て自分ではそんなに出来ないとは思っ
てなかったのだけでしょう。あの当時
としては随分モダンな教育をして
いたわけですね。
いま思い出したけど、ある日校舎か
ら校庭に出る階段に腰掛けていたら、
上級生が「若きヴェルテルの悩み」を
貸してくれたんですね。三年生の人
たちは大人に見えたな。

われわれ卒業の頃は十八才。でも同
級生に対して異性意識があまりなかつ
たような気がする。
桜井 私たちも改まった気持ちで見
るという雰囲気ではなかったような気が
しますね。



松先生

松先生に「ふざける
んじゃありません」
って怒られたんです
が、僕はほんとうに興味
があったのですが。
井上 まさかお裁縫なんかは……。
向井 家庭科を取りたいと言ったら高
内海 音楽の塩崎先生はご苦労なさつ
たでしょうね。

今でも酒の肴は自分で作るほどです。
滝川 生理の話の時など、われわれ五
人は「女の子だけの話です。どこかへ
行って遊んでいらしゃい」とか言わ
れて部屋から追いつき出されたことが何度
もありましたよ。
井上 後輩の男子にはお会いになりま
すか。
市園 一年下の通産省にいった鈴木君
とか、小野先生の個展で大野君にも会
いました。仕事上、名前にはよく接し
ます。緒形拳さん（高9回）とか山下
達郎さん（高23回）とか。同級生の女
子が三人東大に入った後、男子にも入
って欲しいと願っていたので、新聞の
一覧表に後輩の名前が載るとニコッ
としたものです。
青木 二年からは下級生の男子が多く
入って来たわけですが、上級生として
指導的立場を意識しましたか。
向井 全く無かったですね。みんな一
緒という感覚で、協力的でしたね。野
球をやっても下の子たちの方が上手な
んですよ。

青木 向井さんは弟さんも竹早にいら
したそうですけど、それは向井さんが
選んじようです。ちゃんとした合
唱には入れないから、どのパートを歌
ってもいい、ということでした。だか
ら歌によっては両方覚えられましたよ
バスなんて有り得ないわけですね。
内海 音楽の塩崎先生はご苦労なさつ
たでしょうね。
井上 まさかお裁縫なんかは……。
向井 家庭科を取りたいと言ったら高
内海 音楽の塩崎先生はご苦労なさつ
たでしょうね。

青木 私もそういう意識がなかったの
はひょっとしたら私達は小学校の五、
六年の時に集団疎開を経験している男
子女子の区別のない生活を一年間した
もので、たまたま異性意識が慢性化し
ていたのかもしれませんね。むしろ今
の子の方が意識するかもしれない。
向井 それは今まで考えたこともな
かったな。
桜井 私もそれは言えると思います。
それに御用もなかったのですよ。私
なぞ前の方のお席だったから、後ろの
男子のお席にわざわざ行くこともな
かったし。
滝川 卒業して二年くらい後に会った
時に、同級生にも女性を感じましたね
それが誰だったかは覚えていないので
すが。
在学中、小平農園へ茶摘みに行つて
同じ葉で緑茶と紅茶が作れるのを覚え
ました。芋堀りもやりましたね。
向井 僕は山階鳥類研究所に見学に行
つてから鳥に興味を持ちましたね。図
書館に随分通いました。
井上 あの頃、立派な講堂で音楽会や
演劇など文化的な催し物が多くありま
した。あなた方は演劇はなさいます
でしたか？ 本物の男役として。
向井 部に入っていなかったのに、岩
上氏がいい加減なことを言つて、僕が
出る羽目になったんです。そして、僕
が台ですっかり上がった、声が出なく
なっちゃって、ひどい目にあいました。
滝川 師範と一緒にたつたおかげで施設
が整ってましたよ。理科の実験室
階段教室、ピアノの練習室とか。
市園 あれだけの設備が整っているの
だから、何としても男子の数がふえて
欲しかったですね。運動部が作りたく
て。男子が増えてからはバスケット部

弟さんにお勧めになったのですか？
向井 僕は誘わなかったんです。来る
とまずい部分があったりして……。何
時の間にか受けていたんです。
変革の中で、学んだこと
青木 私、みなさんが卒業なさつてか
ら女性恐怖症に罹つていらつしやるの
ではないかと心配していたのです。
向井 私は逆に、女性が僕らには及ば
ない力をもっていると感じましたので
今、私の職場の学校でも、先生方には
男女の差は殆ど考えないくらいです。
市園 今だったら女性の社会進出は当
り前だけど、当時でもすばらしい同級
生たちと競争しようとは思わなかつた
ですね。到底叶わないと思つていたか
ら。
竹早を出て大学に入ってからでし
たか、竹早の三年間は何だったのかと随
分考えました。俺の一生に何の影響を
及ぼすのだろうか。でも結論から言
えば後悔はしてないのですよ。小学校
から成績が悪い方ではなかったのに竹
早だけ悪いのです。しかし勉強したこ
と、ぜんぜんなかったのですよ。あ
の頃は、予備校の時、これはいかにと
気付けて勉強に専念し始め、大学に入
ってからは本当に生き生きとしました
ね。
滝川 僕なんかは周りに頭のいい子ば
かりで、劣等感を持ったのではないか
な。戦争中、石川県の能登半島の山
中に疎開して、旧制中学に行きた
くても輪島にしかないの、仕方なく
高等小学校に入り、駕籠町に帰つても
小石川（旧制都立五中）に編入出来な
くて文京三中に入った訳です。竹早に
入つて感じたのは、旧制の女学校の人
たちはよく勉強してるということす
ね。新制中学から来たから、余計そう

野球部が出来て、正式には部員ではな
かったけれど、一緒によくやりました
の近くにありましてね。僕たち五人を
「餅つき」に呼んで下さいました。
滝川 そうそう、伺いましたね。何回
もね。僕ら素人なので手に水をつけ過
ぎちゃってビチャビチャのお餅、作っ
たりしちゃって。楽しかったですよ。
向井 今だからお話ししてもいいでし
ょうか。当時はまだ戦後の食料難でし
たから僕たちお腹が空いていたんです
福室先生が学校前のパン屋さんの券を
「そつと」下さいましてね。何も彼も
お世話になって今でも感謝しています
井上 さすがは男の先生方ですね。竹
早高校初の男子五人の陰となり日向と
なって学制改革を支えて下さったので
すね。かなり女性上位の竹早の中で、
戸惑いながら五人が色々なことに耐え
て学び成長されて今日のお姿になられ
たわけです。初めてお聞きしたお話も
一杯ありました。思い出は尽きません
ね。最初の男子生徒として貴重な存在
でいらつしやるし、男性のいい面を出
していただけて、今後機会を盛り上げ
るためにぜひ協力して下さいませ。
願っています。これで終わらせていただ
きます。ありがとうございました。
同席者
井上 よしみ
御代 喜久子
内海 晶
（高四回昭和27年卒）
（高四回昭和27年卒）
（高四回昭和27年卒）
（高四回昭和27年卒）
（高四回昭和27年卒）
（高四回昭和27年卒）
（高四回昭和27年卒）

先生の消息(Q&A)

第三回 小野政吉先生 (美術)

高校時代の思い出と言えば、何といっても先生方の話題に花が咲きます。今回は「小野チャン」の愛称で親しまれた美術の先生であり又作家活動もずうっとされている、あのほのぼのとしてにこやかであられた小野先生を、吉岡、相馬の三人でお訪ねし、お話を伺いました。

(教えていただいた時と全くおかわりになっていないように感じますが、おいくつになられましたか?)
小野 81才になります。先が短くなって来たから、やっておきたいこと、やらなきゃならんことがたくさんあって忙しいよ。

(竹早高校に赴任されたのは?)

小野 昭和25年から30年間、70才までいましたね。赴任した時は、もうここがいい、ここで最後までやろうと思っただけ。又やめる時にはね、生徒たちに卒業するまでいてくれと毎回頼まれてね、ついにくたびれちゃって「もうだめだ!」といってやめたね。ハハハ!
(竹早での先生は生徒たちのオアシスだったような気がするんですが。)

小野 どこへいっても小使いさんと仲が良かったな、うちの娘をもらってくれないかってよくいわれたり(笑)又「自由人」といわれたな。
(美術を教えられて感じられたことは?)

小野 何てだったって人間を相手にする仕事は最高だと思いました。又人間を創るのが教育だと私は思っています。勉強が出来るのと頭がいいのとは違うん

だ。個性、個性と良くいわれるけど、個性がどこにあるかってことはなかなかわからないでしょ?先生っていうのは「勘」が良くなくちゃだめだね。たとえばデッサンの話をすれば、へたな作品の中にもピーピーとある放送が届くんだ。キラリ、キラリと光ってるんだ。そういう生徒に絵やってみないか?ってね、発掘して行ったね。
(現在はどんな生活パターンでお過ごしですか?)

小野 九時半アトリエに出かけ一時迄制作する。昼食を取り二時半に又出掛けて行き七時迄制作して帰って来る。アトリエでは寸暇を惜しんで動きまわるんだが、やった結果は目に見えない。根本になるのは絵の中にエネルギーがどれだけ入っているかで決定する。描いた上にプラスαがないとだめ。このプラスαは絵を知らない人でも感じるものなんだ。描くんじゃなく表現なんだ。見ていけば見ている程、味が出て来るような絵、描きたいんだ。絵のおおもとは感激なんだよ、この年になると、簡単に驚かなくなる、そこできかにして驚かせるかって自分でしかけなくちゃいけない、自分の感激を求めてさまよい歩くわけだ。
(あ、それで海外への取材旅行もおひとりで済ませる?)

小野 昭和38年頃から、世界教育者会議を兼ねて出掛けて現在まで十数カ国位行ってるかな。英語なんか出来ないし、いつも一人だよ、字引片手にね。なんとかなるもんだよ、モントリオールでスケッチブックなくした時は残念だった。海外に行くってことは、大海の中の木の葉がどうということ考えるか、

日本列島 卒業生インタビュー

(高校28回生) 木下 恭子

結婚と同時に、夫が家業を継ぐことになり、長崎県佐世保市に参りましてはや十二年が経とうとしております。佐世保市は、人口約二十五万人で、日本の最西端にある西海国立公園の中に位置しています。戦時中には軍港として厚いベールに包まれ見ることもできなかつたという九十九島は、戦後開放され、その優れた自然の景観を現しています。

市のほぼ中央にそびえる弓張岳展望台からはその九十九島、佐世保市街、造船所、佐世保港はもとより、晴れた日には遠く平戸、五島の島々まで眺めることができます。この天然の美と人工的な市街地の対照も素晴らしいのですが、特に夕陽が西海の彼方に沈む夕映えの九十九島はまさに絶景です。今佐世保では今年三月にオープンする「長崎オランダ村ハウステンポス」が注目を浴びています。

ハウステンポスは、オランダの街を再現するテーマパークを中心に、定住、長・短期滞在型施設が運河をはさんで並び、ここでは水・音・緑・光・土壌・廃棄物、エネルギー供給等、あらゆる面で地球にやさしい環境・設備計画が立案されているといえます。この様な、人と自然が共存する街づくりが、素晴らしい自然を抱える佐世保市の今後の観光都市としてのテーマになる様な気がしています。

ところで「佐世保」といえば、すぐ浮かんでくるのが米軍基地の街、というイメージです。昨年のイラン・イラク

戦争の際は、基地周辺の警備も物々しく、改めて基地の存在を印象づけられました。

しかし、毎年七月四日には、アメリカの独立記念日を祝う花火が打ち上げられたり、八月には「アメリカカンフェスティバル」というお祭りがあるなど基地を通じたイベントも定着しています。我家でも子供達が、米軍家族のお宅で英語を習いながら、イースターやハロウインの行事を楽しんだり、反対にお雛祭りにお招きしたり...。私が参加しているママさんソフトボールの大会にも、米軍チームが参加し外人特有の陽気さとパワーで大会を盛り上げてくれたり、民間の交流の機会が多いことも基地の街ならではのことでしよう。

こんな基地にも近い私の家は、駅や商店街、港を三角で結んだ地域内であり、大人が住むには便利な場所です。ちなみに我家では「田舎の都会」と言っています。

ここへ十二年近く前、旅行にでも行く様な気分が嫁いで来たのは、港に隣接した朝市の食べ物にうらたからかもしれません。

佐世保朝市は、九州でも有名で、毎朝三時頃から九時位迄開かれ、近郊の農家の方が持ち寄った露地物の野菜や銀色にピカピカ光る太刀魚、身が透き通ったままの水イカ等、岸壁から揚げられたばかりの魚貝類が並びます。結婚当初、こうした環境で育ったせいのか、お刺し身は朝から食べるものと思っていた主人にはビックリ...。その主人は、家業のガソリンスタンドを経営する傍ら「何歳まで吹くの?」という家族の冷やかしをよそに、市民吹奏楽団で中学の頃より始めたトラン

感じるか、てことなんだ。向こうから見た日本はフル回転という感じ、向こうの人たちはのんびりと暮しているよ(お話はこの辺にしてアトリエでお写真でも撮らせていただけませんか?)
アトリエに案内され、三人はびっくりアトリエの中は今まで描かれたキャンバスでいっぱい、エネルギーがみなぎっている、制作中の百号の絵からは、ラグビーをする若者たちの熱気が溢れた、ただ感心するばかり。「生涯現役」という言葉がまさにぴったり!
これからお元気で制作を続けられることを祈りながら、おいとまをする。尚これからの展覧会のご予定は東光会展4月23日(木)5月7日(木)まで上野公園内都美術館にて又秋の展覧は11月11日(月)16日(土)京橋の下村画廊にて三三七五二六八四個展は来年の春 下村画廊にて5月3日(月)5月8日(土)まで行われます。先生のご住所は、
①15 北区赤羽台四丁目
一七の一八の一〇二五
☎〇三三九〇六〇九二五です。
文責 相馬 昌子 高校12回生



ペットを今も続けています。三人の子供達にとつて今の住まいは商業地域にある為遊ぶ場所も少なく、決して恵まれた環境とはいえません。建物も一歩出ると大型車の出入りする道路という状況の中で、親としては毎日の無事を願うばかりです。という訳で、こちらでも郊外の方へ移られる方が多く、周辺地域では学校もマンモス化する一方なのですが、上の二人が通う小学校では、一学年一クラスか二クラスという有様です。

けれども末の子が通う幼稚園も学校も、運動会はじめ行事に親子で一緒に取り組む機会も多く、少人数故のあたたかい雰囲気が残っています。こうして子供を通して、主人の音楽や私の趣味等を通して、約十二年前、主人以外誰も知らなかった佐世保に友人、家族同士の輪が広がり、幸せに包まれてこの地に根づいた感じがする昨今です。



竹早エコー

こんなことを やつてます

第三号会報の編集に当り、「竹早エコー」欄充実のため、昨年十一月下旬、学年毎のとりまとめ役を調査いたしました。

特に高校卒の仲間、昭和三十一年卒から平成三年卒生まで、合計百八十一名の調査書を送った。その結果、新たに三十三名のまとめ役のお名前が判明いたしました。

一月中旬、原稿依頼のお便りを約八十通發送。集まった原稿二十四通。

集まった原稿は原文のまま、旧かなづかいもそのままにして、誤字、脱字のみ訂正いたしました。お便りの最後に、「編集委員の皆様、御苦労様です」とありました。この言葉、私どもにとればどの励みになりますか！協力ありがとうございます。

お若い方々の原稿が、今回も少なかったのですが、仕方ありませんね。若い時は、未来だけを見て、今を生きていないものから。母校や旧友に対する思いも人それぞれでしょう。いつの日か、昔の級友、校友が懐しく思えた時に、この欄に投稿して下さい。

◎アンケート方式内容

- ① 卒業後の活動、行事。
 - ② 活動、行事内容。
 - ③ 今後の活動、行事予定。
- お便りをお送り下さった方々のお名前と連絡先を念のため、付加しておきます。敬称は略させていただきます。
- なお、締切過ぎで届いた原稿は、残念ながら、掲載できませんでした。
- (今 永)

★大正十年卒★

浜田(下瀬)文字

〇三二二六〇九一三三二二

①年に一回か二回集會をする。
(場所はいつも同じ所、当番は都合のよい人二名)

◎平成三年一死死去
浜田(武島)千恵子
瀬川(武居)信子

★大正十一年卒★

洲脇 トシ

〇三二二三五九一六九二〇

卒業以来七十年、私共は人生大いなる慶事の二つとされている米寿を迎えました。「みいつ畏き」の校歌を五年間共に歌い、袂を分った四十四名のクラスメイト中、既に半ばを越える二十四名の方々と永久の別れを告げてしまいました。昨年、親の別れを告げてしまいました。親に叛き独身で過ぎた私などは相談相手もなく、たまたま、思い悩み、まごつく事ばかりでした。

私は此の所十年間、町内にある四万五千五百平米の国有地の問題に首を突きこんでいたのですが、五十余年前に、将に桃源境も「かくや」と云ふべき自然の恵み豊かだった此の地(注・杉並区井草)に、少しでもその面影を残したいものと同志と働いたつもりでしたが、望みは、はかなく消え去り、結果は誠に不本意なものに終りました。此の間、クラスの向坂様ご夫妻にも随分助けて戴きました。感じた事は政治とは、何と人間味のな、私利私利を中心動いているものか！との印象でした。

今や将に世界の脚光をあびて立ち上ろうとしている日本が物欲だけに迷うことなく、智・情・意の豊かな国民となり、此

★大正十五年卒★

木村陽江(高橋博子)

〇四七一四七二四六五二

①現在二十九名の同級生が健在であり、事、喜んでおります。

年一回クラス会開催、当番は交代に受持ち、五月頃のよい季節にという事になっております。昨年は一応八十三才になりましたので、記念の写真をと(クラスの時)、御遠方で欠席、また御精氣だった方にもお送りしたりして喜ばれました。



★昭和二年卒★

末永(田中)富貴子

〇三二二三四一四四八六六

①クラシックヴァイオリンリサイタル(七十才より二十一回終了しました)を行っております。家内にて生徒にレッスンしておりますが、如何でしたか。

★昭和二年卒★

藤田レイ(浜田礼子)

〇四四一四一六〇六〇四

①私共高女二十二年卒業生は毎年一回甲乙合同でクラス会を開催して居ります。昨年は十月十日京橋で二十二名の方々が元気で出席されました。私たちは今年七十七才つまり喜寿の祝いといつことになりませんが、益々盛んで、楽しみに西から東から北から南からと集まって、わいわいがやがやお話に花をさかせました。



★昭和三年卒申組★

杉(長谷川)あさ

〇三二二三四一〇一四三三二

甲組の皆さまへ
一年に一度はクラス会を開いて、お目にかかりたいものでございます。三年十二月、中村(佐藤)貞様、御逝去をなさいました。

★昭和五年卒組★

伊藤 光子

〇三二二二六〇一八〇七〇

①年一回、クラス会(甲乙合同)
②四月頃、春のクラス会を予定しております。幹事は甲乙から一名ずつ、この春は乙からは沼田さん、鈴木さんです。

◎葬式、葬儀には必ず出席して居ります。ついで盛装を楽しく嬉しく思っております。

★昭和六年卒★

長津(柿原)みち

〇三二二二二二二二二二二二

①原則として春秋の年一回のクラス会を開いて居ります。卒業以来六十年も経ち、皆様高齢ですので、遠出は出来ませんので、都内で楽しく談笑出来る処を選んで居ります。

②今年には卒業六十年目ですので甲乙合同で、地方の方々にも呼びかけて、盛大にクラス会を開催度いと計画して居ります。後輩の方々にも母校の歴史を知って戴く一助にも思い出を集めた文集なども、クラスの方々のご賛同を頂きますなら作り度いと思つて居ります。

③母校の近況、卒業生の活躍等出来る文、写真入りで報告して頂けたらと希望して居ります。同窓会としての社会活動、親睦団体等にも力を入れて頂き度いと思つて居ります。

★昭和七年卒組★

諏訪(川島)静子

〇三二二二二二二二二二二二

①昨年は、私共喜寿になりましたので、五月二十日千代田平安園でお祝いの会をいたしました。東京近郊の方はもとより伊東・大坂・岡山からも出席され二十一名集まりました。多少足の不自由な方もありましたが、口の方は皆健在で昔話から現在のこと、又これからの生活のこととお話はつまみませんでした。そして、秋には電話連絡で集りを持ち、十一名参加しました。

②今年から春秋一回の会を定着させたいと考えて居ります。なお私共、昭和七年卒の組は朱筆会と名付けて居ります。



今日をお素晴らしい花を咲かせてくれませう。後寮園は母校竹早と同区文京区にございませう。昭和二十年三月特別史跡に指定され、東京都の管理の下に手入れが行き届いて居りまして、春夏秋冬いろいろな花を咲かせることができませう。お天気の良い日をえらんで、三々五々お誘い合せお出かけなさって如何でしょうか。

所在地 文京区後楽一六六一六
電話 〇三二八二一三〇二五
午前九時〜午後四時三十分
地下鉄東西線 飯田橋駅
有楽町線飯田橋駅徒歩十分
バス 飯田橋行終点下車徒歩二分
(飯田橋職安署)

★昭和九年卒★

愛知(宇田) 喜
〇三二二八二二〇四〇一
①年一、一回クラス会をしています。
②持ち廻りお返番の方が甲組、乙組一緒または別々にクラス会をして下さるのを楽しんでおられます。
③普段はなかなかお目にかかれませんが、クラス会を数多くしていただくのを楽しみにしております。

★昭和十年卒★

衛藤(近藤) 幸子
〇四六七二二〇八六四
①総会には何時も欠席致し申しわけございません。鎌倉では三十五回卒が長谷から由比が浜にかけて、四名(橋本・薬師寺・岩本・衛藤)おりますので、湘南鎌倉には大体出席いたしております。東京のクラスの方は小人数ながら、時折お会いして、旧交を暖め楽しんでおりますが、総会に出席出来るよう喜んでおります。



・十月下旬に二泊三日の南九州旅行
・五月下旬に八ヶ岳竹早寮に二泊三日の予定

③今年平成四年は昭和で言うところと六十七年。と言ったことは私達は六十七才なのである。(誕生日によつてちがいはあるけど)自分の年はすぐ言えちゃった。今は一瞬考えます。みんなで集まると女学校時代そのま、アダナと呼び合い、わあわあ騒いじゃうけど、まぎれもなく四捨五入すれば七十才。みんなとても若々しいけど、過信しないように気を引き締めながら楽しんでいく次第。

★昭和十八年卒★

高木(森田) 美和子
〇三二二八二二一八七六一
①卒業以来終戦前後の二二年を除き、毎年担任の小林健道先生、藤井幸子先生方をお招きして、東京、奈良、筑波、滋賀と幹事(交替)の工夫で多数の参加の楽しいクラス会をつづけています。昨年は、おみ足の不自由になられた小林先生がお住いの水戸で開き、日帰り組と泊り組と夫々旧交を温め、よい会でした。
来年は五十周年でもあるし、海外で……などという声も出て居ります。又、毎月一回クラスの金子日田子さんを先生に鎌倉彫のお教室が開かれ、立派な作品と共に楽しいおしゃべりの会

★昭和十一年卒★

山崎(吉本) 照
〇三二二三七二一六九八六
①クラス会、年一回
平成三年十一月十四日
於、ヒルトンホテル地階、日本料理“鴨川”
②クラス会。
在学中は明朗で正義感に強く真面目なクラスでした。家庭を持つても健全な子供を育て世間の模範的主婦が揃っています。今老後を迎え、尚家庭第一、仲々宿泊旅行のクラス会が実現しません。皆希望を持っていきますが、八十代を迎えたら実現出来ませうか、楽しみに仲良くお付き合いをしています。



★昭和十二年卒紅組★
福田(輝子) 岡野(利子)
〇三二二五九四一八八九五
①一年一回春か秋にクラス会を開き、旧交を温ためております。年を追って出席者がふえ、賑かについております。
②クラス会
③お忙しいところを母校のために、おつき下され感謝しております。

★昭和十三年卒★

成澤(野尻) 和恵
〇三二二八二二〇一九七
③同窓会、クラス会の連絡をいたさずまましても、あいにく都合が悪く何時も欠席の為、クラスの方々の事はわかり

を長くつづけています。

★昭和十九年卒★

竹内(樋口) 喜和子
〇四四九七三二四二六四
①昨春秋、渋谷 聘珍楼で級会花の六十五才ともなれば、浮世の義理や葛藤は一段落。諦めるころはさつと諦め、さあこれから自分の時間を大切に只々前進あるのみの皆様でございませう。



★昭和二十年卒五年組★

青木(梅沢) 美樹子
〇三二二三六〇四四四八
①年に一度のクラス会を必ず開いていきます。昨年は関西で二泊のクラス会旅行を致しました。二十数名の参加がありました。
②今年もクラス会を開きます。その他鑑賞の観劇会にもなるべく参加する様にして居ります。
③私共の卒業の時は、戦時中の特殊な事情で一年下の学年が四年終了と同時に卒業しました。私共が四十五回生、下の学年は四十八回生となりますので間

ませぬ。
※ 編集部より……
十二年卒の方、この欄に原稿をお寄せいたされる方をお教之下さす。

★昭和十四年卒白組★

大津(佐藤) 雅子
①クラス会
②昭和十四年春、卒業の時クラス会名を十四竹会(トヨタケカイ)としました。以来五十年以上、激動の昭和史の生証人として生きて来ましたが、当時は一学年百名を紅白の二組に分け、卒業まで五年間同じクラスでしたから、友情は深いものがあります。その間にくなつた方十人、不明の方も何人かありますが、五年間に竹早精神で培われたおかげか身体はそれぞれに老いて来ましたが、まだしっかりとした方ばかりです。
Ⅱ 立冬や古橋初つとてクラス会Ⅱ
(一九九一年十一月に)

★昭和十六年卒紅組★

岡辺(菊植) 宏子
〇三二二三三二一七六八七
①クラス会は毎年、開いています。
②大小様々なグループがあり、それぞれに会合を持たれたり、小旅行を楽しんでおられます。

★昭和十七年卒★

手嶋(木暮) 實枝子
〇四四九七三二二〇五
①年間一回のクラス会
・年間一回の二泊三日の旅行会(昨年十月二十四日〜二十六日の東北旅行は十八名参加)
・その他不定期に昼食会など
②三月にクラス会
・十月下旬に二泊三日の南九州旅行

★昭和二十年卒四年組★

石本(柴田) 光子
〇四四六七二二二二八三
①平成三年十一月二日、お元気な小林、吉田両先生を囲んで、日本橋鴨川に於いて級会(若竹会)をいたしました。出席者二十八名。
今後原則として二年に一回、若竹会の集いをする予定です。

★昭和二十一年・二十二年卒★

吉田(加藤) 堪子
〇四八二五二一七三三七
①同期会を年一回、幹事は名簿順で、幹事の方がお仲間にお手伝いいたさうという形で続けております。写真は昨年の同期会のものです。
②秋に同期会を開く予定。
今年、是非河治春世先生にも御出席いたされるよう会場設定を考えてみたいという幹事さんのお話でした。



★昭和二十二年卒★

白鳥(入江) 洋子
〇三二二三三三二九五八八
①月一度、クラス会をしております。竹の香コーラスと名付けております。御指導は塩崎先生です。

②続けてゆくののみです。
③人生のはじまりとおしまいを助け合えるのが、学友だとしみじみ思つたのです。

★昭和二十四年卒★

菅原(関)光枝

◎三二二八二一〇八二
①いよいよ今年には総会のお当番が来てしまいました。前回のクラス会で皆様は御協力をお願いしまして、総会準備委員に二十名近くの方が出て頂きましたので、一月一日には会場の下見をかねて会合を開きたいと思つております。②今は口、多勢の皆様は御参加頂きまして、無事に総会が出来ます事を願つて居ります。会員の皆様よろしくお願い致します。

★昭和二十五年卒★

井上(橋原)よしみ

◎三二二九四七一四六六
①算会総会のため、準備委員が適宜、会合を持つて居る。会報「簾」の編集と広告に協力している。②来る六月六日(土)の算会総会の当番学生であるので、その総会をつつがなく遂行したい。この総会準備で同期生の気持ちがいまにまよったので、終了後、クラス会を兼ねた懇話会を持ちたい。クラスの委員を交代したい。

★昭和二十六年卒★

森本(神宮)美智子

◎三二二八二一〇八二
平成三年十一月九日、算会館の二階集會室は、さながらお花畑もどきの景観でした。卒業してから四十年、それは正直なところアツという間、ソツとする現実の年月でした。出席者二十九名、懐かしい顔ぶれが口々にその胸のうちを語り合いました。



1981年11月台湾旅行



★昭和四十年卒★

対崎 俊一

◎三二二九四二二一八九六
①特にありません
②四年に一度、オリンピックの開催される年に、学年全体の同期会を開くことが慣例化して、今年がその三回目にあたります。従つて、今年も、六月頃かあるいは秋には久しぶりの同期会ということになる予定です。先生方にもなるべく多くご参加頂きたいと考えています。

また右記とは別に、できれば、八ヶ岳の寮を利用し、そこに有志で集まる企画も実現できたらうれしいと思つて居ります。

★昭和四十五年卒★

猪狩(北川)和子

◎三二二四二二五二八九
①私達の学年は、学生運動、校内問題、新制高校への一時移転と重なり、とくに卒業時の学生生活は、個人個人別々の感じでしたので、正直を申しまして、なかなかまとまった同期会活動はしにくい状態です。個人的に数人のグループで集まり、情報交換をしております。②広く各分野で活躍されている方が多いので、できるだけ皆様の消息を調査して、連絡をとっていききたいと思つてお

何といつても第一に自分の健康、家族の動向(たいていの方がお年寄りの問題をかゝえておいでになります)お孫さんが三人「ノギヤマ」のつえ、持だしの家政婦主」といふほ、えましい状況の方もおいでになりました。

特別の馳走もなく、年輪を経たお部屋の雰囲気は、四十周年の集いとしてはいささか秀れものとは言いがたかったのですが、皆様和気藹藹、抱腹絶倒の語り口で時のたつのも忘れれる程でした。

来年は算会総会の当番幹事のお仕事が続つております。その相談や役割分担も大枠決まりました。尚八十七名の方が同期会の維持費をお送りくださいましたので、ご報告させていただきます。人それぞれ上手に年を重ねることができたというのが、会を終えての実感でした。これも高校時代の薫陶あつてこそと、全員ヨイショで幹事！



次回の幹事は小沢悦、穂坂文子、田中義子、栗山幸子の皆様がお引き受けくださいました。

★昭和三十年卒★

志賀(大野)真砂子

◎〇四九一六二四一四一五二
①昨年十月、二年ぶりの同期会を開催。時期の設定悪く二十五名程度でしたがお馴染みの加藤興三郎先生と卒業以来の辻忠一郎先生の臨席を仰ぎ、お懐しく、「又「万年筆」なる珠玉の話話を

ります。いろいろな考えの方がいらつしやると思つたし、全員で集るのは難しいと思つたが、希望が多ければ、有志で一度同期会をしたいと思つた。③心ある方は御一報下されれば幸いです。

刈岡 庸子

◎三二二九六六一三〇二
一九七〇年(昭和四十五年)に卒業して以来、母校とは疎遠になっていました。先日、友人から、同期のとりまとめをしたので手伝つてくれないかという電話がありました。学園紛争の真只中、算会への入会もナンセンスといふことで、おそらく誰も入会してはいないのではないのでしょうか。就職先(三菱商事)にも竹早会というものがあつて、先輩たちと何回か会食をしたりしました。

全共闘世代がプリンスホテルで同窓会のようなものを開く昨今、私たちがいろいろな人生経験を積んできて、若かった昔を懐かしむ年になつたのでしよう。

「竹早エコー」拜見したことがないので内容がわかりませんが、何かのお役に立てればと思つた。尚、私自身の現況は、数年前より独身、家電製品卸関係の会社で経理事務をしています。ゴルフと水泳で若さと健康を維持できればと思つて居ります。

★昭和五十年卒★Cルーム

池田 正一

◎三二二五九九七一八二七八
①本年一月二十五日に、恩師藤原澄子先生をお迎えして二年ぶりにクラス会を開いた。出席者も二十名程。生徒だった我々は、「白髪が増えた」「太った」「体調が不良」などと一年をどうしたかなどと雑談していたが、今年で七十二才になられる藤原先生は、卒業式での

ご披露頂きました。西先生の若々しさは、嬉しい驚きでした。十二月東銀座、三笠会館にて有志による忘年会、年々盛会となるよう念じています。

関西方面在住の有志は、随時、会合を持ち旧交を暖めています。

②総会には例年欠かさず十名程度、参加して居り、不参の年度のないのが、秘かな自負です。益々お元気な先輩諸姉にお目にかかるのを楽しみに本年度もより多く参加の予定です。

未定ですが、九月頃、同期会開催、昨年、不都合だった方達の出席をお待ちします。

③通信費の協力をお願いしました処、百名を越す方々からお寄せ頂き感謝しています。今後とも多数のご協力をお願い申し上げます。

★昭和三十三年卒★

角掛 隆

◎三二二八二一〇二二〇
①一年に一回同期総会を開いています。今年も 十月三日(土)の予定です。会場その他は八月までにお知らせします。

②今年は一月中旬にスケジュールを同期の方々に全員に発送しました。一月に新年会、一月に大山詣をしました。

③五月二十三(土)と二十四(日)日に旅行会(白樺湖)。十月にはハワイ旅行会の予定。十一月二十六日忘年会(池袋駅前劇院)尚詳細については同期会報にてお知らせしてあります。

おもかげそのまま。とても我々の倍の年を教



職に生きてこられたとは思えない(失礼ながら、先生が竹早に着任されたのは我々の生まれ年との事)昔話がつきぬが、先生に古希のお祝いをお渡し(二年程遅れてしまつたが)喜んでくれた。先生は「目は高く、頭は低く、広い心で」と話され、出席のオジン・オバンの予備隊、いや見習いはその意味を改めてかみしめていた。



④今後、来年こそは、仕事に忙がしい男達も子育てに追われる女達も是非時間を作って、全員参加のクラス会を開こうとなつた。ちなみに来年の幹事は浅倉利治さんと横治子さんです。詳しくは池田まで。

★昭和五十七年卒★Eルーム

守屋 三佐子

◎三二二九二一〇八四七
①定例となつて居るのは「春のクラス会」と「10・10・10サミット」(女子のみ)です。去年は春がすぎて、初夏になつてしまいましたが、無理矢理、車二台

につめこんで、横浜、本牧へ行き中華料理を食べてきました。クラスの中にはパパやママになった人もいますが、この日は主に独身者。さらに身重の奥様同伴の男子がひときわいました。こうして元Eの仲間が二倍、三倍へと増えていくんだなーとうれしく思いました。それから時々、クラスの仲間が集まってゴルフコンペもあります。

★昭和五十七年卒★Bルーム

大津 慎二

- ①中の良い同級生の結婚式で顔を合わせられる程度です。
- ②私どもは二十八才。仕事にあるいは新生活に忙しい時期で、クラス会もままなりません。地方に行った者も多数いるようです。協力できることが少なく申し訳ございません。

★昭和六十二年卒★Eルーム

鈴木 克洋

- ①現役で四年制大学へ進んだ人達は、今年社会に出ていきます。『超』売手市場の中、竹早出身の多くが、様々な業界のトップといわれる企業に就職しているようです。
- 一年浪人（大部分の学生はこれに入る）の私達は、竹早OBの方ともしっかり関係を保ちとり、就職のアドバイスなどもいただければと思います。
- ②学年全体の同期会は行われていません

おたより談話室

望月うめ(吉野)談

(高女13回生 大正2年卒)

会報「篋」の創刊号と二号を頂き母校が大きく発展して共学になっていく事を知り、喜んでビックリしたり。まるで夢の中に居るようでございます。私はこの三年間、寝たり起きたりの生活。白内障のために新聞が読めず、すっかり社会に疎くなっています。同窓会が今迄なかつた会報を見事に作って下さり、それを少しずつ読んで自分を取り戻すことが出来ました。すっかり忘れていた昔の事や、八十年前の私が急にはっきりとして参りました。私は明治29年3月生まれ96才。その頃東京府立第二高女に入るには尋常小学校(六年)を卒業して一年生に入學するわけですが、尋常小学校から更に高等小学校(二年)を終えて三年生に編入する事も出来ました。私は東京高等師範付属小学校の高等科から第二の三年生に入れて頂き、飯田橋寄りの大曲の家から金富小学校協の坂道を登って竹早町の学校へと通いました。普段家では紬や銘仙を着ていましたが、第二の既定は元禄袖や一尺八寸までの袖丈の木綿の着物の上に細い帯を締め袴を着用。黒紋付きの着物も木綿でしたから、絹ものでない木綿を揃えることの方がかえって大変でした。とに角「華美にならず真面目にしっかりと」と言うのが学校の方針でした。長い袖は体操の時にはピンク色の襷がけ。袴の丈は特に厳しくて、床上五寸先生が物差を床に立てて一人ずつ計りまして違反者はその物差でピシッピシッと叩かれたのでございます。授業は国定教科書。小学校の程度が高かったので

が、ゆめゆめは有志をつのり、その有志を中心に開催できればと思います。なお、各クラス共、クラス会は一年に一度程度行われています。私の所属していたE組では今まで一年に一度つづ開催してきました。前回は外務省領事事務官として、すでに活躍中の高田法子さんが、カナダ、バンクーバーからマレーシア、ペナンへ転勤になるといふことで、急遽開催しました。突然のクラス会でも二十名程すぐに集まるので、竹早の友人は本当に、人が多いなあと痛感しました。今後、できれば年に一回、少なくとも二年に一度は集まりたいと思います。

③私が在学時として今も感じているのですが、竹早は九十年以上も伝統のある学校にもかかわらず、その知名度は地元を除いて、極めて低いものだと感じます。確かに、教育に有名無名など関係ありませんが、自分の母校が知られているというのには、卒業生としてうれいもの。OB・OGのEゴかも知れませんが、そのような知名度をあげることに、より、学校の活性化、施設の充実が図られれば、在学生のためにもなると思います。都立離れがひどく、地盤沈下の激しい今、何らかの対策が必要ではないでしょうか。私立高のよつに、甲子園とさわきたてるのではなく、文化面においても、スポーツ面においても等しく、力を注いであげることが、必要不可欠と考えます。そのためには、会社経営などされている卒業生の方から施設充実のために、寄附もしくは貢献していただくのが、一番であると思います。そのような動きが欲しいなあと感じました。

勉強の方はさほど困りませんでした。絵は日本画で、その筆づかいに苦労いたしました。それと体操の難は重くて小柄な私には大変な事でしたが、活発な級友の二渡かつさんは確の第一人者で、学校を代表して試合によく出場されていました。友人の門田あや子さんの一昨年の年賀状は老衰のため入院されたので、お嬢さんからの代筆でございました。私は今夫も兄弟も亡くし、たった一人で中野区内で生活しております。寂しくなりました。週に何度か、区のヘルパーさんが給食を届けにきて、部屋の片付けや用事を足して下さいますが、この方は第二の補習科卒です。今、このお電話で後輩の声を聞き、私は水を得た魚のように生き返り人間らしくなれました。事故を起こさぬように病院以外の外出は控えていますので、世の中の事がトーンと判りません。これからも新しい事を教えて下さい(文責 井上 よしみ)

人の師となり、母ともなりて

教育学博士 石井良子(高3回生)

短大教員をしている娘が、ある趣味の会で、竹早出身の七十代の奥様と出会った時のことです。「私の母も竹早で?」「まあさようで、でも六十才以上の方の第二と以下の方の竹早とは、違う学校ですよ」と言われたそうです。その話を聞いて私は、ふと学生敬語の使い方の分かれ道と一致する事に気づきました。そして私たちの世代が丁度その分水嶺かなと思いました。私の学年の多数の方々は敗戦の年に旧制第二高女の門をくぐり、六年後竹早高の門をあとにしたのです。私も含めて少数は新制高校に入學しました。その頃の竹早では、今は廻町敬語といわ

◎たすね人

昭和九年入學の旧姓中野晴子さんの消息を御存知の方、御連絡下さい。

〇四一九一三六―三九五五 今永まで

★バレーボール部★

竹早高校バレーボール部OB・OG会

平成三年度幹事 真下 由美子

〇三三三九五五―七二六八

我が竹早高校バレーボール部OB・OG会は、府立第一高女以来、平成三年卒業までの七百人を越す会員から成り、竹早では唯一の組織だった会となっております。運営は、山廣俊雄会長を始め二十二人の理事により、年に数回の理事会が行われ、実務的なことは卒業二年目の会員が年度幹事として毎年交替して行っています。活動費は学生千円、社会人二千円の年費、その他寄附金で賄われています。毎年、会報を発行し、年一回の総会では顧問の先生もご参加下さり、昼はバレーボールを楽しみ、夜は親睦会で管間来られない方も加えて旧交を温めています。皆さんこの会を楽しみにして下さい。昨年の暮れの総会では、百名近くの参加で盛大に行われました。また、年に六回、文京区バレーボール連盟の大会に出場し、好成績をあげています。詳しくは竹早OB・OG会だよりに掲載しておりますので、興味ある方はご一報下されば会報をお送り致します。

尚、昨年から竹早高校改築工事のため、現役部員は充分な練習ができないので、OB・OG会としては出来る限り援助するつもりであります。バレー部会員の皆様、これからもご協力をお願い致します。

れ、敬語の一般領域から蔵入りした、「遊ばせ言葉」が校庭でも使われていました。テニスの球がそれると、「ごめん遊ばせ」と大声で叫んでいたのです。それがやがて「ごめん遊ばえ」。新人類ともなれば、キャア。学生敬語は下落し、最低の、ですます体すら使わないのが昨今です。終戦を境に日本の第二の性をつくる教育もボーワイルとは違った向きですが、先生方の教え方に微妙な差を見せました。「これをしては駄目です」「その態度はいけません」と日本の受信型人間を造るには最適の「ねじ伏せ否定法」の命令指導を続ける先生もあれば、アメリカ型の発信型人間を造るべく「そうかそれをやりたいのか?それには」とyes but法指導に乗り出す先生もいらして、波立つ新教育の活気時期に私たちは竹早に在席したのです。なかでも新しい波は男女共学でした。当時私は社会クラブに属して、始めて新聞を創刊発行し、第一号に「共学は男五人をでかく撮り」と風刺マンガをのせました。新聞をつくる手法がわからなくて、早大の新聞部の学生に指導を願いました。今流行の学外交流のはしりを実行したのです。若い早大新聞部員はある日、フランス語で私はあなたが好きです。というカードをプレゼントしてくれました。喜んで私はクラブの友人に話すところ、皆が同じカードを買っていましたので、がっかりしたことを覚えておきます。ところが、学外交流は竹早の校風に合わぬとある筋から睨まれました。責任者である私は、校長室に呼ばれました。発信型の活動はここでは無理なのだとは半ば観念してドアを開けました。すると中路校長は、温顔で迎え入れて下さいました。そして「地

学に興味があるのだね。今度六義園にいろいろな石があるから、教えてあげよう」とだけおっしゃってくださったのです。休みの日々、私は友人と共に中路校長に連れられて、六義園、後樂園と続けて名園の石の由来のマンツーマン教育を木陰の緑の中で受ける幸を得ました。名園の見方や庭づくりを教えながら、さりげなく人づくりに大切な感化を教導されたのです。その含蓄のある人の師の思いを私も微力ながら学生に形を変えて伝えて参りたいと努力しております。

「バームスプリングス」

鈴木 直道 (高校5年生)

ロサンゼルス郊外、と言っても飛行機が三十分程度東に飛んだ所ですが、砂漠の中に人工的に造られた緑豊かなバームスプリングスという保養地があります。数多くのゴルフ場があり、ゴルフ場の中でも名門といわれるゴルフ場のクラブハウスの一室で日米首脳会談が行なわれました。丁度二年前の三月始めでした。日本からは当時の海部首相、米国からは勿論ブッシュ大統領が出席、たまたま私も通産省から同行しました。それまでの一二年は「激動する世界」がはじまっています。東欧の民主化、ベルリンの壁の崩壊、そして東西ドイツの統一へと、誰しも予想出来ないテンポで新しい歴史のページが加えられて行きました。この激動は更に続いているわけで、中東戦争ソ連でのクーデター、そしてソ連共産党、「ソ連」という国そのものの消滅という信じ難い変化まで起きています。一方その当時のわが国は、リクルート事件や消費税導入問題、バブル景気等国内問題に振り回され、国際政治の舞

台には脇役ですら登場することが出来ず、寂しく取り残されてしまいました。総選挙で久しぶりに大勝し、第二次海部内閣を組閣した海部さんに例のブッシュホンが掛ってきて開かれたのがこの首脳会議でした。

ブッシュ大統領は一日半かけて、ドイツの統一を中心とした欧州の変化やゴルバチョフが進めているソ連のペレストロイカに対する米国の考え方と対応策について説明して呉れました。その上でブッシュ大統領は次のように述べていました。「新聞記者諸君が私に米国の敵はどこか、と聞いた時には私はこのように答えることとしています。だ。(当時の新聞の与論調査によると米国にとつて脅威なのは、も早ソ連の軍事力ではなく、日本の経済力であるとの結果が多数意見として出ているのを背景とした質問であり、大統領の口から、米国の敵は日本との返事を期待しているとの意味のようです)私の敵は、「不安定性」「不確実性」「予測不可能性」の三つだ」と。米国は今後予測が出来よう不安定した新しい世界秩序を作る為日本の協力を得たい。そのために日米に横たわる経済摩擦の解消の為日米共に最大限努力しよう。このような趣旨がこの首脳会談の結果でした。その後行なわれたヒューストンサミットでは、中国に対する経済制裁解除の問題や、対ソ連支援問題などで米国の支持を受けながら積極的に発言し、ようやく国際政治の舞台に日本の姿が見えるようになりました。しかし、その直後に湾岸戦争が発生し、更に一年後の昨夏にはソ連にクーデターが発生する等、ブッシュさんが敵とした、予測不可能な不安定な時代が依然として続いているわけで日本が世界



砂漠の星空

池田 正一 (高校27年生 昭和50年卒)

の政治経済の安定化のために何をしてくるか、世界から期待と不安を持ってじっと見つめられているのが今の時代だと思います。日本人の真価が問われているのです。

いった各部の記者と違って、最前線の現場に立たなければ、商売にならないカメラマンとあって海外に出れば必ずといっていいほど珍しい経験をする。89年の冬、温暖化、砂漠化する地球の環境問題をアフリカ大陸のサハラ砂漠で追っていた。同砂漠南部では、樹木の伐採などで乾燥化が進み、砂丘が北部の砂漠地帯から押し寄せてきていた。目的地はマリ共和国のトンブクツ(昨年迄「パリ・ダ・カールラリー」の通過点となっていた)。遠い昔には「黄金の都」とたたえられた美しい街だ。今やその美しさは砂あらしに消え、街自体もその砂に埋もれようとしていた。首都「ハマユ」を出て五日目。チャーターした日本製の四輪駆動者は故障もなく頼もしい。同日中に現地着を予定していたが、砂漠地帯に入りそのやわらかい砂に快調に進む車のタイヤが少しずつとらはじめた。現地ガイドは「日没でこれ以上進むのは無理」とのアドバイス。サハラ砂漠での野宿となった。途中の小さな街でようやく手に入れたパンと、イワシの油漬けの缶詰の簡単な夕食をすませ、寝袋に入

った。冬とはいえ四十度近くになる気温、照りつける太陽の熱で寝袋を通して、わずかにぬくもりが感じられる。一日に百キロ近くも砂漠を走っているとその上下する振動に疲労もたまり、すぐ寝息をたてはじめた。しかし、慣れぬ場所とあってすぐ目が覚めた。日はとっぷりと暮れ、遠くにトアレグ族のテントの火がポツンと見えるだけ。ふと見上げる空には満天の星。まさしく、プラネタリウムで見たものと同じだった。ただ、数分見ていただけで十数回の流れ星。人工のプラネタリウムではこうはいくまい。素人にも覚えのある北斗七星や、他の星座も他に輝く星のせいかわかりづらいほどだ。流れ落ち姿を消す星に願をかけたが、内緒のところ、いまだ実現しているものはない。(本当です)翌朝早く、異様なにおいで起こされた。なんと野性のラクダが五匹も離れていない、すぐそこで大きい方の用たしをしていた。何とも表現の出来ぬにおいとしあわせそうなその表情。ラクダを乗りまわしているトアレグ族と間違ったのだろうか。人間様の安眠を妨害したとわかったラクダはすぐに姿を消した。乾燥させれば貴重な燃料となるフンを残して

会報通信

た

すかりました。二号の発送には思わぬ助っ人が参加してくれまして。母校の高校一年の生徒二百余名が放課後の時間をこのことの為に提供してくれたのです。校長先生を始め担任の先生方のご協力の賜と感謝の念を深くいたしました。篋会準備軍とも言うべき若い人達の力でアツという間に発送までこぎつけましたこと

本当に助かりました。ありがとうございます。わりました。創刊号二号はB5型で刊行しました。三折にする時ホチキス止の金具に当たってどうもスッキリしません。今回から変形のB型にして二折にしました。紙も色紙にしてみました。試行錯誤の繰り返しですが内容装丁など、より良いものを創り出すべく努力しています。ご意見お聞かせください。払込通知表の裏面に通信欄がありますのでご利用ください。二号にお寄せ下さいました通信の中から二件ご紹介致します。大正八年卒・斉藤 芳野様

か

算会報をお送り下さいまして有り難うございます。やはりなつかしく一息に読みました。私は明治三十四年十月四日生まれですから誕生日がくれば九十才になります。子供は四人おりますがまだ一人で生活しております。月に一度N響の定期公演に出席して楽しんでおります。(中略)今後ともよろしくご活躍をお祈りあげます。

昭和二十年卒・稲垣 ゆり子様
創立以来の制服の移り変わり特集を載せて下さい。明治生まれの先輩は和服で袴、大正生まれスカート、セーラー服、共ぎれのネクタイ、昭和ひとけたはもんぺの時代、戦後スカート復活。そして現在和服もOK?髪かたち、はきもの、手さげもみんな変わったはず。男の子が今何着てるかもキョーミンシン。体育着なんかも驚くほどの変化でしょうね。大変かもしれないが何年かかってもやってみてください。

む

きげんです。会報通信費の振込には期限はありません。発行されてから二ヶ月間くらいの間が一番数多く集計されますが、年が代わって二月になってからでも一通又一通

と会館に送られてきます。お忘れなくお見捨てなく会報にお寄せくださる会員の方々のお気持ちを大切にしてください。創刊号は二九六三通、二号は二六三六通の集計でした。一割減という数字は大変気になります。反省しながらも前進あるのみと編集委員一同痛感しています。一年単位でなく五年、十年単位で会費が払えると双方の手間も省けて良いと思うのですが、ご意見もありました。発行のたびの手ごたえを知る為にも一年ごととさせていたただきたいと思ひます。

ら

海外で活躍中の会員の為に会報は海を渡りました。転任、転居結婚等人生の節目には住所の変更を算会館宛に一報ください。五年ごとに発行している算会の名簿を充実させる為にもお願い致します。平成元年には九十周年を記念して立派な名簿を作製しました。代金は三千九百円。送料五百円。購入希望者は送料、代金を現金封筒にて送金の上会館宛お申込みください。出来るだけ多数の方に参加して戴ける様に名刺大の広告の欄も作りまして。一コマ一万円です。お心にとめて下さい。森本 美智子(高校三回生)

| | |
|-------------|-----------|
| 会報会計報告(2号) | 現在 |
| 平成4年1月22日現在 | 2,636人 |
| 通信費納入人数 | |
| <収入の部> | |
| 正味金額 | 2,494,400 |
| 広告代金 | 1,551,000 |
| 受取利息 | 50,632 |
| 総額 | 4,096,032 |
| <支出の部> | |
| 会報送料 | 871,918 |
| 会報制作費 | 1,454,360 |
| 編集経費 | 234,937 |
| | 2,561,215 |
| 差引残高 | 1,534,817 |

| | | |
|--|---|--|
| <p>医療法人 社団大成会</p> <p>長汐病院</p> <p>東京都豊島区池袋1丁目551 TEL 03-3984-6161代表</p> | <p>〒112 信濃路 中畝修一郎 (昭和40年卒)</p> <p>〒112 東京都文京区小石川5-5-2 TEL 03-5976-2811</p> | <p>料理研究家</p> <p>城戸崎 愛 (昭和18年卒・高女43回生)</p> <p>〒160 東京都新宿区大京町14 TEL 03-3351-5562</p> |
| <p>バイオ理化学実験器械 販売</p> <p>株式会社 日京製作所 代表取締役 新井堅司 (昭和30年卒)</p> <p>〒113 東京都文京区本郷2-17-8 TEL 03-3814-2066 FAX 03-3814-2060</p> | <p>LCCグループ代表</p> <p>澤登 信子 (昭和36年卒)</p> <p>株式会社ライフ・カルチャー・センター 〒150 東京都渋谷区桜ヶ丘29-33-702号 TEL 03-3476-1530 FAX 03-3476-1591 Life Culture Center U.S.A. Inc</p> | <p>昭和ビル歯科医院 (健保取扱) 京橋明治屋前 院長 三輪 順一 (昭和43年卒)</p> <p>診療時間 (月)~(金) 10:00~1:00 2:00~6:00</p> <p>〒104 東京都中央区京橋2-8-18昭和ビルB-2 TEL 03-3561-0917</p> |
| <p>モリシタ株式会社 森下賀代子 東京都港区南青山4-8-2 TEL 03-3475-0160 (昭和23年卒・高女48回生)</p> | <p>たんぱく・鉄分の良薬 リッ 功 効 ホリ 効 立 効 丸・宝 丹 株式会社 守田治兵衛商店 守田 千恵 (昭和18年卒・高女43回生)</p> <p>TEL 03-3881-0539</p> | <p>ポルポ正規ディーラー ヨシダ・オート 株式会社 代表取締役 吉田 光之 (昭和40年卒)</p> <p>〒113 東京都文京区向丘1-7-14 TEL 03-3818-8551 FAX 03-3818-4734</p> |
| <p>伝動機器販売並製作OA機器販売</p> <p>株式 会社 堀田本店 代表取締役 堀田 佳予子 (高校7回生・昭和30年卒)</p> <p>本社 〒101 東京都千代田区岩本町2-8-14 TEL 03(3862)7221代表 FAX 03(3864)4949 船橋営業所 千葉県船橋市夏見4-1-11 TEL 0474(24)6910代表 FAX 0474(24)6925</p> | <p>土木設計(橋梁・河川・道路・トンネル)</p> <p>株式会社 光稜設計 代表取締役 堀内 徹 (昭和37年卒)</p> <p>〒171 東京都豊島区南池袋2-12-8 第三中野ビル5F TEL 03-3987-7561 FAX 03-3989-0062</p> | <p>歯科一般・矯正・小児</p> <p>浅倉歯科医院 院長 浅倉 利治 (昭和50年卒)</p> <p>東京都板橋区小豆沢3-10-3 TEL 03-3960-8241</p> |

| | | |
|--|---|--|
| <p>貴石・半貴石 輸入卸</p> <p>(株) 小野 寺 取締役相談役 多賀 泰子 (飯田) 昭和24年卒</p> <p>〒176 東京都練馬区向山3-21-38 TEL 03-3999-0110(代)</p> | <p>丸山測量建築設計事務所 取締役 丸山 展枝 (木本) 昭和25年卒</p> <p>〒272 市川市八幡2-1-1(市役所隣) TEL 0473-34-0973 FAX 0473-33-3332</p> | <p>(株) 富士教育出版社 依田 久子 (土屋) 昭和25年卒</p> <p>〒162 東京都新宿区白銀町5-15 TEL 03-3235-3301</p> |
| <p>関西割烹 川 奈</p> <p>桑原 昌子 (成沢) 昭和24年卒</p> <p>〒106 東京都港区西麻布3-1-23霞一ビル TEL 03-3403-5813</p> | <p>彰栄保育専門学校 専任講師 中島 弘子 (黒川) 昭和25年卒</p> <p>〒112 東京都文京区白山4-14-15 TEL 03-3941-2613</p> | <p>こどもの文化研究所 講師 長縄 泰子 (長谷川) 昭和25年卒</p> <p>TEL 03-3982-6847</p> |
| <p>上村ビル</p> <p>上村 光都子 (深山) 昭和24年卒</p> <p>〒114 東京都北区田端6-3-20 TEL 03-3828-2072</p> | <p>三基商事株式会社 営業所 駒崎 富美子 昭和25年卒</p> <p>〒114 東京都北区王子本町1-14-2 TEL 03-3900-3427</p> | <p>真宗大谷派 西 来 寺</p> <p>住職 大塚 甫 坊主 大塚 証子 (平松) 昭和25年卒</p> <p>〒238 横須賀市不入斗町3-38 TEL 0468-22-1020</p> |
| <p>持永 さだ子 (好田 静) 昭和24年卒</p> <p>〒150 東京都渋谷区広尾4-1-12-704 TEL 03-3486-1468 〒885-01 宮崎県都城市庄内 TEL 0986-37-0002</p> | <p>内科 産婦人科 齋藤 医院 院長 齋藤 肇 副院長 齋藤 佳孝 齋藤 和子 (菅谷) 昭和25年卒</p> <p>〒176 東京都練馬区小竹町2-8-8 地下鉄有楽町線小竹向原駅2番出口 TEL 03-3995-3511</p> | <p>糸井眼科医院 糸井 和子 (蜜田) 昭和25年卒</p> <p>〒156 国立市東2-6-1 TEL 0425-72-1939</p> |



私は、疲れにデリケート。



医薬品

- 肉体疲労に。
- ビタミンB₂配合のドリンク。
- カロリーひかえ目(14.9kcal/1びん)。
- サラッと飲みやすいアップル風味。

**チョコラBB
ドリンク**

—— ビタミンB₂配合 ——

- 肉体疲労・病中病後・食欲不振・栄養障害・発熱性消耗性疾患
- 妊娠授乳期などの場合の栄養補給
- 滋養強壮
- 虚弱体質

新聞・雑誌・広告申込所・宣伝企画立案・編集・印刷マデ

自費出版のご用命は是非当社へご相談下さい。1冊よりお引受けします。

株式会社 ニ ッ ト

昭和33年卒・角掛 隆 角掛昌枝(旧姓三部)

〒113 東京都文京区千駄木3-22-11 シャルマン文京千駄木623・604

TEL 03-3821-0210 FAX 03-3823-0064

薄刃、厚刃、丸刃、スクレーパー
超硬刃、特殊刃物・設計・製作

ダイワ刃物工業 有限会社

関 文隆 (昭和33年卒)

〒175 東京都板橋区徳丸1-28-17

TEL 03-3550-3355

FAX 03-3550-3519

對 崎 俊 一

(昭和40年卒)

〒170 東京都豊島区南大塚2-7-7

TEL 03-3357-3775

西出法律事務所

弁護士 西出紀彦

(昭和36年卒)

〒530 大阪市北区西天満3-6-22

北大阪ビル3階304号

TEL(06)365-9813 FAX(06)365-5967

竹早高校同窓会の発展をお祈りします

篁会同窓会

会 長 愛 知 富

(昭和9年卒)

淑子の鍼灸室

室長・国立病院医療センター麻酔科勤務(月、水)

鍼灸師・医学博士

藤田 淑子(昭和23年卒)

診療曜日:火・木・土(予約制)

〒113 東京都文京区本駒込3-34-3

TEL 03-3821-7075

全国大会、合宿、忘年会などお申込み下さい。尚50畳の大広間も有ります。

交通至便・閑静な 日本交通公社協定旅館 JRグループ協定旅館

旅 館 朝 明 館

種田 紀 武(昭和34年卒)

〒113 東京都文京区本郷4丁目4番8号

TEL 03-3811-7205 FAX 03-3814-2766

地下鉄(丸の内線)本郷三丁目下車、徒歩3分

オーストラリア18000キロの旅//心優しいアルカダン(仲間達)との出会い

虹の国のアルカダン

株式会社 刊行社 茂木ふみか 著

☎03-3267-6925

日本図書館協会選定図書

全国学校図書館協議会選定図書

四六判 256頁 定価1,400円(税込)

二人だけの銀婚式を大自然の中のエアーズ・ロックでむかえよう——夫妻の旅はいつしか、明治半ばに渡豪し木曜島で亡くなった真珠採りの少年たちや、カウラに眠る戦争俘虜ら日本人への鎮魂の旅ともなっていてゆく。新聞各紙で絶賛をうけ報道された心暖まる本書の著者は今は亡き夫君と共に世界を歩いた旅行ジャーナリストであり、第二高等女学校1944年卒業生。

VIAAX
FOR CREATIVITY AND RELIABILITY

創造するビジネス考えるメディア
株式会社ヴィアックス

東京都中野区弥生町2-8-15〒164 TEL:03(3299)6011 FAX:03(3299)6005

.....for The Harmony

環境・施設・物/企画・デザイン

irf

株式会社 イルフ

107 東京都港区南青山2-7-26 TEL.03-3402-9072 FAX.03-3402-9566

松尾建設株式会社

取締役社長 松尾 幹夫

本社 〒840 佐賀市多布施一丁目4番27号

☎ (佐賀) 0952(24)1181

支店 東京・大阪・広島・福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島

有田の伝統と近代の調和を目指す。

IWA O

岩尾磁器工業株式会社

本社工場 佐賀県西松浦郡有田町1-2-8番地
TEL0955(43)2100

東京営業所 東京都中央区銀座2丁目8番5号岩尾ビル
TEL(03)3561-9851

三代 岩尾 對山 宗

對山 有田店 佐賀県有田町1-1-4番地
TEL(0955)42-5841

東京店 東京都中央区銀座2丁目8番5号岩尾ビル
TEL(03)3563-2006

平河総合法律事務所

弁護士 稻見友之

(昭和33年)

東京都千代田区平河町1丁目5番16号 アオキスタジオビル5F
電話 (03) 3261-1411(代)

専門体育教師による水泳・体育指導

個性を伸ばし、のびのびと明るい、元気な子を育てる

日進まこと幼稚園

(〒331) 大宮市日進町2-1048(丸広百貨店南隣り) ☎(048)663-0938

第二まこと幼稚園

(〒331) 大宮市日進町3-193(日進北小東隣り) ☎(048)664-1785

野尻国彦(昭和41年)

毎週木曜夜7時~9時、日進北小体育館でママさんバレーボールの練習をしています。お近くの方はどうぞご参加ください。

紙のご相談は

紙の総合商社

株式会社 **深山**

東京都台東区元浅草1丁目1-3

☎ 03-3842-1211 (大代表)

百年間がんに三角 有平糖 梅ぼ志飴

変わらない方がいいものだってあるのです。



株式会社 榮太樓 本舗 東京都中央区日本橋1-2-5
電話 03(3271)7781(代表)

KIYOSATO



海拔1200メートル・八ヶ岳の雄大なスロープ
清里高原の開放された自然の中での研修会がいま注目されています。
都会を離れ明るい太陽のもと、風爽やかな清里での生活と学習がすばらしい
出会いをつくり、実り豊かなものになるでしょう。

(財)竹早会八ヶ岳寮

現在50-60人の宿泊が可能です。
この恵まれた環境を同期会、学校外教育
生涯教育の場としてグループ、サークル
お友達同志で活用下さい。
フリースペースとして 自由にお使い
いただけます。内容に合わせて食事内容
時間割り、講師依頼、予約等、ご相談
いただければ アドバイスいたします。
作陶、窯焚き、草木染め、アーチェリー
スケッチ、自然観察、ハイキング、登山
オリエンテーリング、テニス、ドライブ
スキー、写真撮影、スポーツ等を盛り込
んだ楽しい企画が出来ると思います。

維持会員募集中

入会金 20,000円

年会費 3,000円

会員の方は、自主講座その他に割引料金
でご優待いたします。
企画運営に参加できます。

キャビンの建設計画中
浄財をご寄付ください

詳しくは事務局へお問い合わせ下さい。☎03-3943-2415

財団法人 竹早会

Yesです。

学ぶことによって、個性が引き出され、
創造力と判断力が養成される。
そういう教育のありかたを実現するために、
河合塾は文化性、情報性、国際性を備えた
総合教育機関として、つねに変革している。

Noです。

志望校に合格するための知識だけを
詰め込む。
一方的に受験のための技術を教える。
そういう教育のありかたに、
河合塾はダメを出したい。

- 大学受験科
- 高校グリーンコース
- 中学グリーンコース
- 公開単科ゼミ
- 講習会(春期・夏期・冬期)
- サテライト講座
- 全統模試

さあ、笑顔のステージへ。

河合塾

駒場校・千駄谷校・池袋校・立川校・横浜校・松戸校・千葉校

いつも、ベストクオリティを求めて。

家庭電化製品 オーディオ ビジュアル コンピュータ



ワイドフロアー・ワイドセレクト

ヒロセムセン

〒101 東京都千代田区外神田1-10-5 (あきはばら)
☎(03) 3255-2211(大代表)

宮内たみこ(旧姓広瀬)昭和18年卒業